

# 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                   |
|---------|-------------------|
| 事業所番号   | 4071101473        |
| 法人名     | のみやま有限会社          |
| 事業所名    | グループホームおさ         |
| 所在地     | 福岡県福岡市南区日佐3-40-30 |
| 自己評価作成日 | 平成23年11月18日       |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://kohyo.fkk.jp/kaigosip/Top.do">http://kohyo.fkk.jp/kaigosip/Top.do</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                    |         |             |
|-------|--------------------|---------|-------------|
| 評価機関名 | 財団法人 福岡県メディカルセンター  |         |             |
| 所在地   | 福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号 |         |             |
| 訪問調査日 | 平成23年12月5日         | 評価結果確定日 | 平成23年12月22日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

|  |
|--|
|  |
|--|

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

|  |
|--|
|  |
|--|

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果<br>該当するものに印                                | 項目 | 取り組みの成果<br>該当するものに印   |
|----|--|----|---|
| 58 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:25,26,27)     | 65 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,21)     |
| 59 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:20,40)           | 66 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,22)                       |
| 60 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:40)                 | 67 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) |
| 61 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:38,39)  | 68 | 職員は、生き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)  |
| 62 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:51)                | 69 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う   |
| 63 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:32,33)       | 70 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                     |
| 64 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:30) |    |   |

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。〕

| 自己              | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|-----------------|-----|---|--|------|-------------------|
|                 |     |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>理念に基づく運営</b> |     |   |  |      |                   |
| 1               | (1) | 理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | 「一緒にいる喜びを感じられる家庭」(地域・社会・スタッフ共に住む同志として)を理念に挙げ、地域住民との交流を図りながら理念を共有している。                        |      |                   |
| 2               | (2) | 事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している   | 地域住民として、地域の行事(敬老会、夏祭り)に参加している。又、運営推進会議には町内会長、民生委員に出席していただいている。                               |      |                   |
| 3               |     | 事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている   | 2ヶ月に1度の運営推進会議や家族会で町内会長、民生委員、家族に出席してもらい、会議の中で折にふれ認知症介護について話している。                              |      |                   |
| 4               | (3) | 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                      | 毎月の行事報告は、写真入りで「おさ通信」を作成・配布しサービスの報告をしている。又、会議内で、家族からの希望を伺いサービスの向上に努めている。                      |      |                   |
| 5               | (4) | 市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる  | 運営推進会議への参加の呼びかけや相談時は連絡し随時交流している。   |      |                   |
| 6               | (5) | 身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 抑制廃止委員会を設置し、玄関ホールの施錠はせずアラームを設置し対応している。又、身体拘束に関する研修に参加したスタッフの研修報告をスタッフ会議の時に取り上げスタッフ全員が周知している。 |      |                   |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|-----|--|--|------|-------------------|
|    |     |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7  |     | 虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている  | 虐待防止について研修に参加し、その都度虐待防止についての意見を求め、防止に努めている。  |      |                   |
| 8  | (6) | 権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している   | 入居時に家族への説明を行っている。又、研修に参加し理解を深めている。   |      |                   |
| 9  |     | 契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている  | 個別に時間を設け説明を行っている。利用料金や起こり得るリスク、重度化や看取りに関しては慎重に主治医と相談し、家族に説明をし医療連携体制の同意を得ている。                   |      |                   |
| 10 | (7) | 運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている  | 利用者1人に担当者が付き信頼関係を深めている。ケアプランやアンケートによる要望なども承っている。   |      |                   |
| 11 | (8) | 運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている   | 月1回の会議を催し意見、提案を話し合える時間を設けている。  |      |                   |
| 12 |     | 就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている   | ・代表者は書く職員の勤務状態を把握し、各々のレベルアップの研修参加に努めている。<br>・希望の勤務時間や休みは出来る限り添えるようにしている。<br>・パート職員から正職員の体制もある。 |      |                   |
| 13 | (9) | 人権の尊重<br>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している | 職員採用にあたっては、年齢や男女を問わず意欲あるスタッフを募集している。   |      |                   |

| 自己                       | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|--------------------------|------|--|---|------|-------------------|
|                          |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 14                       | (10) | 人権教育・啓発活動<br>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる                            | 人権に関する研修に参加し、知識を深めている。その後スタッフ全員での会議で研修内容を確認している。                                  |      |                   |
| 15                       |      | 職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている          | 外部研修に積極的に参加する機会を与えている。又、スキルアップの為、年ごとに研修内容を考えている。                                  |      |                   |
| 16                       |      | 同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 管理者は南区の「ささえあいの会」に参加したり、同業の西日本介護サービスにも相談し、質の向上に努めている。職員も研修などで同業者との交流を通じ、向上心を仰いでいる。 |      |                   |
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |  |   |      |                   |
| 17                       |      | 初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている         | ケアマネージャーより情報収集をおこないつつ事前面接に出向き生活状況を把握できる様にしている。又、体験入居をして頂き不安なく入居できる様、支援している。       |      |                   |
| 18                       |      | 初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている                    | 入所前に希望、要望、不安等を伺いながら話し合いを密にし、納得できる信頼関係を築くように努めている。                                 |      |                   |
| 19                       |      | 初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                | 相談時、本人・家族の思いを聞き、何を必要としている支援であるかを見極め、その方に合った支援をしている。                               |      |                   |
| 20                       |      | 本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                                   | 本人と一緒に過ごしながら、不安、喜び、楽しみなど、日常生活の中で共感し分かち合いながら、家族の一員であることを感じていただけるように努めている。          |      |                   |

| 自己                              | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|---------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                                 |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21                              |      | 本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、<br>本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支<br>えていく関係を築いている        | 家族が面会に来られた時は、個別に本<br>人の様子を細かく伝えている。  |      |                   |
| 22                              | (11) | 馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所<br>との関係が途切れないよう、支援に努めている                        | 本人の要望にあわせ個人レクを行ったり<br>友人などに手紙を送ったりしてい<br>る。馴染みの方が面会に来られた際<br>には必要に応じスタッフが間に入りよい<br>関係が続くよう取り組んでいる。 |      |                   |
| 23                              |      | 利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せ<br>ずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような<br>支援に努めている                | 掃除、食事の片付け、洗濯物干しなど<br>数人でお手伝いしていただき、利用者<br>同士で自然に助け合う場を作ってい<br>る。                                   |      |                   |
| 24                              |      | 関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関<br>係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族<br>の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退所後、他の施設に移られた場合、面<br>会に行ったり、家族に様子を伺うな<br>ど、関係を継続するように努めてい<br>る。                                    |      |                   |
| <b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |      |                   |
| 25                              | (12) | 思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握<br>に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し<br>ている                        | 日常会話や生活の中から希望を汲み取<br>るように努めている。困難な場合、家<br>族から情報収集し検討している。  |      |                   |
| 26                              |      | これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環<br>境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努<br>めている                    | 本人の馴染みのものを持ち込んでいた<br>だいたり、本人や家族からいただいた<br>情報を元にこれまでの生活に近い環境<br>で過ごしていただいている。                       |      |                   |
| 27                              |      | 暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する<br>力等の現状の把握に努めている                                      | 利用者1人1人の生活リズムを理解し<br>支援している。又、出来ることを見つ<br>け楽しみや生活への意欲が向上するよ<br>う支援している。                            |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|---|--|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 28 | (13) | チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している             | 本人や家族の意向を元に本人が生活の中で自分らしく暮らしていけるようスタッフ全体で観察しカンファレンスを行っている。                              |      |                   |
| 29 |      | 個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                                    | 個別ファイルに食事、排泄、入浴、日常生活の状況・言動などを記録している。又、勤務に入る前には申し送りをを行い確認をしている。                         |      |                   |
| 30 |      | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                           | 本人や家族の希望する病院への付き添いを行っている。  |      |                   |
| 31 |      | 地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                     | 地域の消防署に来ていただき消防訓練をしたり、町内の方にいつでも協力していただけるよう通信を送っている。                                    |      |                   |
| 32 | (14) | かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | 本人や家族が希望する医療機関をかかりつけ医にしている。又、受診や通院に家族と一緒に職員が同行したり、職員が代行するなどしており、その都度家族に了解を得ている。        |      |                   |
| 33 |      | 看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                      | のみやま内科の主任に日頃の健康管理や医療面での相談をしている。又、管理者に看護師を配置している。                                       |      |                   |
| 34 |      | 入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | 利用者が入院され家族がホームでの生活を希望される場合、入院先の病院関係者にその旨を伝え細かく情報交換をし早期退院が出来るよう病院関係者とホームでの生活について相談している。 |      |                   |

| 自己                           | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------------------------------|------|---|---|------|-------------------|
|                              |      |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35                           | (15) | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 家族が来所された折に話をさせていただき、主治医や連携病院と連携を取り安心した最期を迎えられるように随時意志確認しながら取り組んでいる。                     |      |                   |
| 36                           |      | 急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている   | 全ての職員に応急手当の勉強会に参加してもらい急変時の対応ができるようにしている。  |      |                   |
| 37                           | (16) | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている   | 定期的に火災などを想定し避難訓練を行っている。町内の方や地域の方に参加していただいている。   |      |                   |
| <b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |   |      |                   |
| 38                           | (17) | 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている  | 本人の愛着のある品々を居室に置いてもらっている。職員はこれらの品を軽んじることなく対応している。又、徘徊されている時などには何を考えて歩いているのか向き合って声をかけている。 |      |                   |
| 39                           |      | 利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている   | 時間を見つけては世間話などを糸口にして、入居者の思いや希望を聞き取っている。  |      |                   |
| 40                           |      | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                                   | 1人1人のペースを大切に、その日の様子を見ながら本人の希望や要望を聞いている。   |      |                   |
| 41                           |      | 身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している  | 利用者1人1人に好みの洋服を選んでいただいたり、行きつけの美容室を継続して利用している。  |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|--|--|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 42 | (18) | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている            | 利用者と職員と一緒においしく食事をしながら、利用者の好みの食べ物を取り入れるように工夫している。   |      |                   |
| 43 |      | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                 | 1人1人に合わせ食べる量・形態を把握し提供している。主治医に検食していただきアドバイスを受けている。   |      |                   |
| 44 |      | 口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                         | 個々に合った口腔ケアをしている。週に1度、歯科衛生士による口腔ケアを実施している。  |      |                   |
| 45 | (19) | 排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている          | 個々の排泄パターンを把握し声掛けしながらトイレでの排泄を心掛けている。  |      |                   |
| 46 |      | 便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                          | 1日の水分摂取量の目標を決め水分補給に努めている。個別に排便有無をチェックし便秘予防に努めている。食事には食物繊維のものや牛乳・ヨーグルトなどを取り入れ、便秘予防の体操も実施している。 |      |                   |
| 47 | (20) | 入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | 利用者の状態に合わせて好きな時間に入浴していただいている。  |      |                   |
| 48 |      | 安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                           | 日中の活動を多くし、個々の生活リズムで状況に合わせて対応している。  |      |                   |



| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|---|--|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 |      | 服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | お薬手帳や処方箋で確認し、職員全体が個々の薬の内容を把握している。                              |      |                   |
| 50 |      | 役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている  | 1人1人の出来ること、好きな事を把握し、状況に応じて支援している。                              |      |                   |
| 51 | (21) | 日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                      | 1人1人に合わせて外気浴、散歩、ドライブなど外出できる頻度を増やして行けるように工夫している。                |      |                   |
| 52 |      | お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 家族からお金を預かっていることを伝え、欲しいものがあれば一緒に買いに行ったり、買物代行をしている。              |      |                   |
| 53 |      | 電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 本人の希望があった場合は、手紙の紙を渡したり、電話をつないだり、希望に沿うようにしている。                  |      |                   |
| 54 | (22) | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | リビングにはソファがあり、利用者がゆっくりできるスペースを設けている。季節感を出す為にリビングには季節の飾りつけをしている。 |      |                   |
| 55 |      | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | リビングや玄関にソファを用意し、1人で過ごしたり仲の良い入居者同士がくつろげるようにしている。                |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価                                 | 外部評価 |                   |
|----|------|--|--------------------------------------|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況                                 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 56 | (23) | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 本人が使い慣れたものを、安全性も考慮しながら各居室に配置している。    |      |                   |
| 57 |      | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 1人1人の出来ることを把握し、その時の体調や状態を観察して支援している。 |      |                   |